

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 和楽の家上道

目標達成計画

作成日：令和 5 年 4 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	コロナ禍の為、感染予防・自粛という状況下でも、可能な範囲で交流が必要。	コロナ禍でも、地域交流が疎遠にならないよう工夫が必要。	地域内、散歩中の挨拶含め、小さな交流から積極的に取り組む。事業所へ連絡し施設の状況を常にかけて頂くよう対応する。	3ヶ月
2	11 (7)	職員同士の意見の食い違い・考え方の違いがあり、なかなか意見がまとまらない。	職員同士での関係づくりに努める。アンケートや面談し個々の考えを知る機会を持つようにする。	月に一度の向上会議では意見交換を活発に行う。小グループでのディスカッションを行い、より深い意見交換ができるようにする。	6ヶ月
3	36 (14)	災害時マニュアルをスタッフが理解し、行えるか。	災害時マニュアルを見直し職員全員で把握し行えるよう訓練する。	災害対策の見直し。災害時マニュアル作成・食品、水等の貯蓄。個人の情報を明記した、ネームホルダーを事前に用意する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。